

めざす子ども像…

豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども
自分の考えや良さを言える子ども
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども



してもいいこと、いけないこと



多様な価値観が認められ、常識と言われていたことが次々とアップデートされていく現代社会ですが、それでも変わらない、変わってはいけないこともあると思います。『人の物を壊してはいけない』『人の物を盗んではいけない』『人の体を傷つけてはいけない』…こういったことは、有史以来、人類共通の“きまり”であり、集団生活を始めた人間が安心して暮らすために伝えてきた大事な“約束ごと”であるはずです。

たくさん子どもたちが毎日過ごす学校や地域においても、それは当然のように守られるべきことであってほしいと考えています。

もしかすると、子どもたちが日常的に接しているメディアやゲームの中の世界では、上記のような“きまり”や“約束ごと”が常識として扱われてはいないかもしれません。心がまだ十分に発達していない小学生は、これから様々なことを経験して心を肥やし、判断力を磨き、大人へと成長していきます。どうか保護者の皆様には、日々の様々な出来事についてお子様と話をする機会をもっといただくことで、メディアやゲームの世界と、生身の人間が暮らすリアルな日常生活とをつなぐ架け橋となっていきたいと思えます。

「自分のものだけでなく、みんなのものも大切にしようね。」

「自分のものと友だちのもの、みんなのものをきちんと区別しようね。」

「友だちにケガをさせるようなことをしたり、悪口を言って傷つけたりすることは絶対にやめようね」



上記3つの“きまり”や“約束ごと”は、国家や地域が「戦争」の状態に突入すると、全てひっくり返ります。これも、有史以来、人類がくり返し経験してきた悲しい事実です。どれだけ社会が変わっても、本当に大切なことだけは失われないようにと願うばかりです。

12月の目標「そうじをきちんとします」 (『あたりまえ10箇条』・第9条)

教室や廊下の隅々まで丁寧にホウキで掃く姿。嫌な顔もせず冷たい水の中に手を入れて雑巾を洗う姿。自分たちが生活する環境をきれいに保つためには、ある程度の根気や忍耐が必要です。それでもがんばって掃除をすることができる大内小学校の子どもたち。一生懸命に掃除をすることで美しくなっていくのは…何より、子どもたちの「心」です。



交通安全に気をつけよう！

年末に向けて、慌ただしさを感じる季節となりました。こういう時期だからこそ、子どもたちに交通安全の大切さを十分に意識させたいと思っております。ご家庭におきましても、機を見てお子様に話をさせていただきますようよろしくお願いいたします。

①横断歩道の正しい渡り方について

青信号を確認する、左右を確認する、手を挙げて渡るなど、普段お子様が横断する場所に合わせた声かけをお願いします。夕暮れどきは反射材の装着も効果的です。

②自転車の正しい乗り方について

ヘルメット着用、左側通行、交差点での左右確認、早めのライト点灯等についてお話しください。飛び出しやスピードの出し過ぎは命に関わる事故につながります。

③登校・下校について

集合時刻を守る、一列に並んで歩く（今は適度な間を空けて）、まもり隊や交通指導員、地域の方に気持ちのいいあいさつをするなど、登校班の様子に合わせた指導をお願いします。また、下校時にもなるべく1人にならないように声をおかけください。